ルシャワ市街破壊に転じ、市街地の 80 %は破壊されてしまった。

ヴィスワラ川河畔を占領していたソ連赤軍は容易に渡河し,蜂起軍を手助けできる位置にありながら、対岸の見物だけで動こうとせず、壊滅するのを待っていた。さらには赤軍は連合軍側から兵器や物資の補給をも認めず輸送を阻止、亡命政府が派遣したポーランド第一軍団の兵士は燃え上がる祖国の首都ワルシャワ市街が燃えさかるのを対岸から涙を流しながら見詰めるだけの悔しさを味わった。

ワルシャワ市内ではドイツ軍による蜂起参加者狩りが行われテロリストとして即座に銃殺された。レジスタンス・市民の死者は 18 万～ 25 万人。

10 月 2 日、国内軍はドイツ軍に降伏し、兵士は武装解除され捕虜として収容所へ送られ、市民 70 万人は市外へ追放となった。

参考、映画「地下水道」「灰とダイヤモンド」

ワルシャワが廃墟になった 1945 年 1 月 12 日、赤軍はようやく進撃を開始、1 月 17 日にはワルシャワ全市を占領し、更にレジスタンの生き残り幹部を逮捕、処刑することによって自由主義政権の誕生の芽を摘み取ってからクレムリンに絶対忠誠を誓う共産党政権を樹立した。

かくしてポーランドを赤軍の大集結地としてドイツ国内侵攻の準備を進め、ここまで来ればベルリンは指呼の先にあり、西から進撃してくる連合軍より早くベルリンを占領せよとのスターリンからの命令に基づき猛烈な快進撃になった。

1945 年 4 月 30 日、結婚したばかりの妻エヴァ・ブラウンと地下壕でピストル、劇薬シアン化合物での自決、遺体はガソリンをかけて焼却したが、ソ連軍に回収され歯形の鑑定が行われた。

5 月 2 日、ソ連赤軍、ベルリンを完全占領

5 月 8 日、デーニッツのフレンスブルク政府,連合国に降伏

6 月 5 日、ベルリン宣言、分割して占領、その後西ドイツ、東ドイツとなる。

映画：2004 年制作ドイツ・オーストリア「ヒットラー最後の 12 日間」

国際政治の暗黒部に翻弄され続けてきたシベリア孤児達のその後の安否が気懸かりだが、詳細は判らないが男性はイエジキ部隊に参加した人が多く犠牲になられた方がいると聞く、女性は生き抜いた人も多いらしい。

平成 7 年、阪神淡路大震災の時、孤児になってしまった子供達をポーランドが招待したことをご存じでしょうか、1996 年夏、被災孤児 30 名が 2 回にわたりポーランドに招ねかれ各家庭で 3 週間　ホームスティーした。国を挙げての歓迎だ